

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

インターナショナルアンジェリカ下目黒6丁目保育園
東京都目黒区下目黒6-15-18
株式会社WITH

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・まわる、逆立ち、ぶら下がるなどの動きを通して自分の身体に加わる変化を感じていく。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

すくわくの活動を通して、巧技台の使い方を知り、自分たちで遊びを発展させながら活動を行うことができるようになってきた為、今以上に用具の応用編の使い方を知る。

・鉄棒が得意な子どもが多い為、バーなどを取り入れ、ぶら下がる動きを取り入れた。

2. 活動スケジュール

5分→導入、挨拶、説明

その後は子どもの様子を見ながら動機づけ遊びを行っていき、遊びに応じて環境を変えていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

巧技台、マット、鉄棒、ビーム、滑り台、斜面板、大縄、丸形はしご

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

大人は先に動き方を教えず、子どもを見守っていく。ホールの半分はプレイゾーン、もう半分は自由に身体を動かすことのできるチャレンジゾーンを設置する。色々な動きを行う中で自分の身体に加わる変化を感じ定期、身体の使い方を学んでいく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・遊具の色々な部分にぶら下がったり、登ったり出来る場所があることを見つけると初めは登るメインの動きを行っていたが、一人の子どもが丸形はしごにぶら下がりながら進んだことをきっかけにぶら下がる動きを行っていた。バーの部分では逆上がりや前回りなどを行い、まわるの動きを取り入れていた。また、大縄では郵便屋さんにも何度も挑戦する姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・活動開始10分ほどはこちら側が行ってほしい動きが見えなかったが、子ども一人の動きがきっかけで子ども自身で遊びを発展させていくことが出来るのだと感じた。また、危険な場所を察知し、子ども自ら職員に見守っていて欲しいと声を掛ける姿が見られ、日々の巧技台での活動を通して、自分の身の丈に合った動きや遊具の使い方を知ることが出来ているとともに、新しいことや少し難しいことにも挑戦しようとしている事が分かった。